

平成23年度 周南市立周陽中学校重点プロジェクト

～全教職員で子どもたちの人間力の向上に努めます～

◆ 社会的・職業的に自立するために必要となる能力の育成に努めます (キャリア教育で育成すべき基礎的・汎用的能力の育成)

- 体験活動の事前・事後指導を重視することで子どもたちのキャリア形成を図ります。
 - ・体験活動が単なるイベントにならないように、事前・事後指導を充実させ実のあるものにします。
- すべての教育活動を通して意図的・継続的に基礎的・汎用的能力の育成を図ります。
 - ・すべての教育活動のねらいをキャリア教育の視点から設定し、子どもたちの基礎的・汎用的能力の育成に努めます。
- 部活動での指導力の向上に努めます。
 - ・学校教育の一環として教育課程との関係を図りながら、子どもたちの人間力の向上に努めます。

◆ 心の教育を推進し、安心で安全な人にやさしい学校づくりに努めます (人間関係向上プランの実践)

- あいさつ・マナー・言葉遣いの定着を図ります。
 - ・すべての教育活動を通して、人間関係を構築する生活習慣の育成に努めます。
- 道徳教育のさらなる充実を図ります。
 - ・校内研修(心の教育班)の計画的な実践により、思いやりの心や感謝の気持ちなどを育成します。
- 特別活動や総合的な学習の時間の実践を通して他者とのつながりを向上させます。
 - ・校内研修(人間関係づくり班)の計画的な実践により、他者とのつながりを意識した活動を仕組みます。

◆ 基礎・基本の徹底と確かな学力の定着を図ります (学力向上プランの実践)

- 学習環境の整備と学習規律の定着を図ります。
 - ・3つの構え(物構え、身構え、心構え)を重視した規律ある学習を進めます。
- 小集団の学習活動を仕組むことにより聴く力や伝え合う力を育成します。
 - ・校内研修(確かな学力班)の計画的な実践により、コミュニケーション能力を高める活動を積極的に取り入れ、伝え合う力や聴く力を育成します。
- 研究授業や授業評価の実施により教員一人ひとりのさらなる授業改善に努めます。
 - ・一人1回の研究授業、学期に1回以上の授業評価により教員一人ひとりの授業改善に努めます。

◆ 家庭・地域との連携を強化し、協働実践に努めます (学校支援地域本部事業の実施)

- 学校支援地域本部事業を実施します。
 - ・学校支援地域本部事業を立ち上げ、年3回地域教育協議会を開催します。(キャリア豊富な地域人材を学習支援ボランティアとして活用し家庭・地域との連携を推進します。)
- 校区内3小学校や近隣高等学校との連携を図ります。
 - ・小中連携協議会を年3回開催します。また、小への出前授業、高からの出前授業を実施します。
- 保護司、民生委員・児童委員との情報交換会を開催します。
 - ・周陽中校区の保護司、民生委員・児童委員との情報交換会を年に2回程度実施します。